

第6章 環境影響の予測及び評価

第6章 環境影響の予測及び評価

本博覧会は、横浜市が実施する土地区画整理事業による造成等の基盤整備完了後に実施するため、土地区画整理事業及び公園整備事業（1次整備）による整備後の状態（本博覧会における整備前の状態）に対する本博覧会事業の実施による周辺環境等への影響について環境影響評価項目を選定し、予測及び評価を行っています。

本章では、選定した環境影響評価項目について、調査、予測及び評価を行い、その結果を以下に記載しました。各項目の調査のうち、「既存資料調査」は既存文献等の資料収集及び整理による調査、「現地調査」は対象事業実施区域内及び周辺において実施した調査を指しています。

また、現地調査を実施することが一般的な動物、植物、生態系、水循環、大気質、騒音、振動、地域社会、景観、触れ合い活動の場といった項目については、関連事業の土地区画整理事業及び公園整備事業において実施された現地調査の結果を引用し、現況把握に活用しました。土地区画整理事業において実施された現地調査の結果は土地区画整理事業評価書（以下、「既存資料（土地区画整理事業）」とします。）に、公園整備事業において実施された現地調査の結果は、公園整備事業準備書（以下、「既存資料（公園整備事業）」とします。）に整理されていますので、本書では本事業と関連する一部を抜粋して引用しました。

景観については、上記調査結果の引用に加えて、本博覧会の実施による近景域の眺望景観の変化を把握できる地点において現地調査を実施しました。

なお、本博覧会では、環境影響評価の予測及び評価の他にも、AIPHの規則等に基づき、今後、サステナビリティ戦略等を策定し、環境保全等の持続可能性に関する取り組みを進めていきます。

表 6-1 関連事業の現地調査結果を活用している項目
及び本博覧会事業において現地調査を実施する項目

環境影響評価項目	現地調査	土地区画整理事業の現地調査結果を活用している項目	公園整備事業の現地調査結果を活用している項目	本博覧会事業において現地調査を実施する項目
温室効果ガス	—	—	—	—
生物多様性	○	○	○	—
水循環 (湧水の流量、河川の流量)	○	○	○	—
廃棄物・建設発生土	—	—	—	—
大気質	○	○	—	—
騒音	○	○	—	—
振動	○	○	—	—
地域社会 (交通混雑、歩行者の安全)	○	○	—	—
景観	○	○	○	○
触れ合い活動の場	○	○	—	—

注1：関連事業において実施された現地調査の結果は、本事業と関連する一部を抜粋して引用しました。

